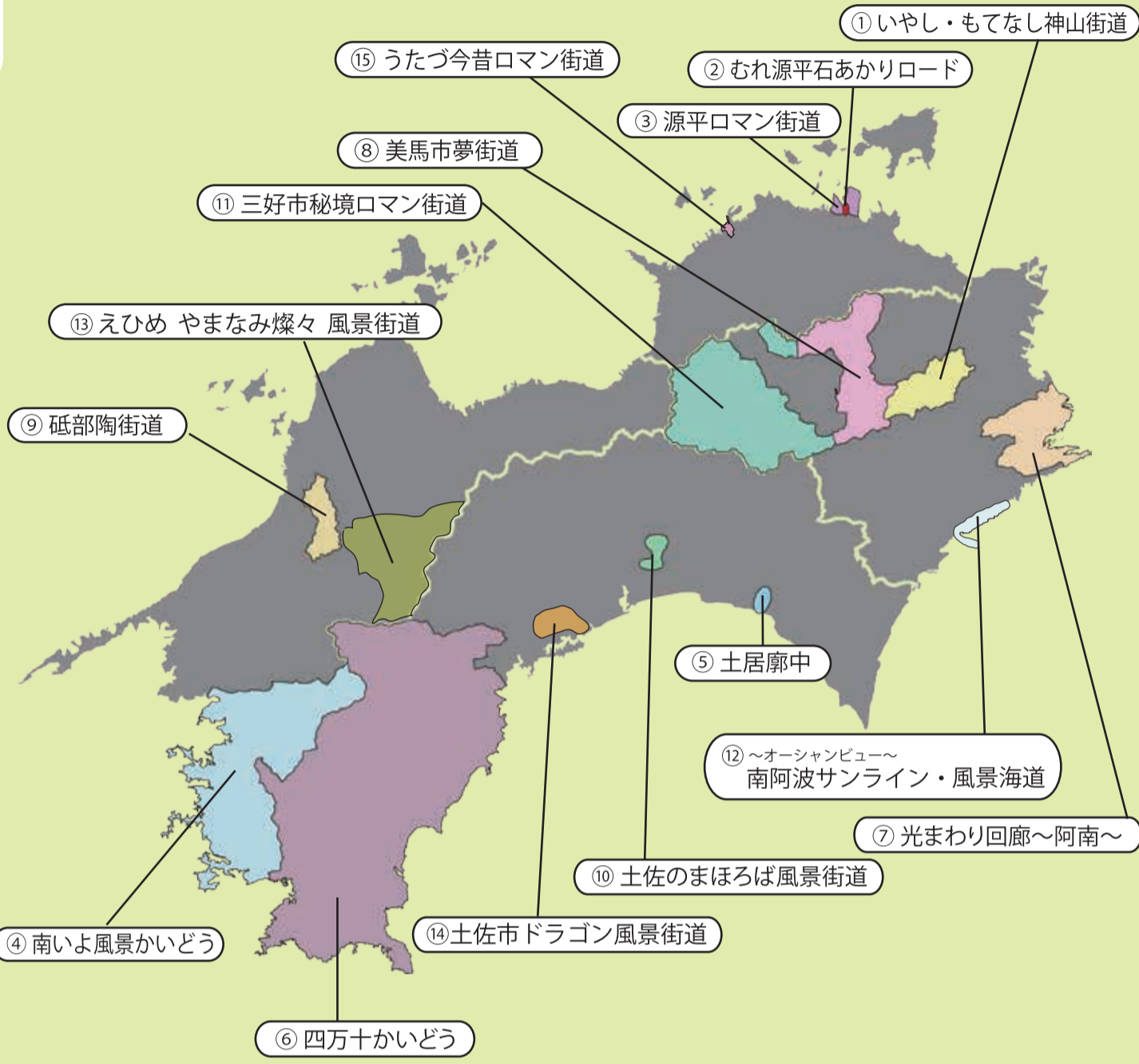


道は、さまざまな人や物、文化が交流する舞台です。そして道沿いの地域にはその地域ならではの自然、歴史、文化が息づいており、暮らしがあります。

風景街道は、道と沿道、その周辺を舞台として、地域住民の皆様・NPO法人・行政など多様な主体が協力しあい、地域ならではの自然、歴史、文化等の資源を活かして、美しい景観の形成、地の活性化、観光の振興を図る取組みです。その結果、かけがえのない日本の原風景や国土文化が維持、再興されることを目指します。

四国の風景街道に是非お越しください。

平成19年度に風景街道の登録が始まり、全国各地で様々な取組が行われています。四国では平成27年3月までに15ルートが登録されています。15ルートのそれぞれが個性を活かし、魅力あふれるルートとなっていますので、是非お越しください。



今と昔がつながり輝き続ける宇多津町

「うたづ今昔ロマン街道」は、地域活動団体・地域住民等が活動主体（風景街道パートナーシップ）となっており、「うたづ今昔ロマン街道推進協議会」を組織し、平成27年3月に「日本風景街道」に登録されました。若者文化を取り入れた新しいまちと、室町時代から町家文化を守ってきた古街を文化・交流資源として活用し、町の活性化を誘うことを目的とし、新しいまちと古街の整備・保全、イベント開催など、さまざまな活動を行っています。その範囲は、町道宇多津駅前公園線、町道宇多津臨海公園線、町道宇多津西町の浦線、町道網の浦新町線、町道網の浦新町線、町道網の浦新町線、町道新宇多津北第7号線を中心とした宇多津町全域におよびます。

特色

瀬戸大橋を望める絶好のロケーション

本町の北側に位置するうたづ臨海公園は、瀬戸内海に沈む美しい夕陽や瀬戸大橋のライトアップが楽しめます。また「恋人の聖地」に認定されておりデートスポットとしても人気があります。総面積5.6haの園内には、複合施設「うたづ海ホタル」、家族連れに好評の「遊具広場&芝生公園」、塩づくり体験ができる「復元塩田」、県内周遊バス「さんさん」の乗降場「四国水族館」などがあり、海沿いには遊歩道も整備されています。夏には「うたづアロハナイト」が開催され、瀬戸の夕暮れをバックに華やかなフラダンスが楽しめます。

ノスタルジックな建物が残るまち並み

古街（こまち）は、四国八十八ヶ所霊場の第78番札所「郷照寺」、三角屋根の洋館が特徴的な「倉の館三角館」、建造1200年以上の歴史をもつ「宇夫階神社」など、歴史や文化を感じさせる建物が数多く建ち並んでいます。古街の道路はその雰囲気に合わせて煉石レガを使って整備されており、散策するには最適です。3月の雛祭りの時期に開催される「うたづの町家とおひなさま」や10月下旬に行われる「秋の大祭」は古街の人気イベントで毎年大勢の来訪者で賑わいます。

取組

「うたづ今昔ロマン街道推進協議会」では、うたづの町家とおひなさんの「のききま地域資源を活かした活動」、地域ボランティアグループによる植栽などの「美しい風景・景観を創出する活動」、うたづアロハナイトや秋の大収穫祭などの「来訪者をもてなし、楽しませる活動」を行っています。



A うたづの町家とおひなさん B みんなで咲かせよう花の会 C 秋の大収穫祭 D うたづアロハナイト

活動主体・・・うたづ今昔ロマン街道推進協議会
活動の範囲・・・香川県宇多津町全域
中心となる道路・・・町道宇多津駅前公園線、町道宇多津臨海公園線、町道宇多津西町の浦線、町道網の浦新町線、町道網の浦新町線、町道新宇多津北第7号線
登録年月・・・平成27年3月

見どころ案内

新宇多津都市

町北側にある「新宇多津都市」は、昭和53年から平成2年にかけて、瀬戸大橋架橋に伴うJR瀬戸大橋線の四国側の起点駅のひとつとして塩田を埋め立て開発された地域です。このような地域であることから交通アクセスが良く、商業や観光施設が立ち並び、若者が多く住む、にぎわいのあるまちとなっています。

1 道の駅 恋人の聖地 うたづ臨海公園

園内には、複合施設の「うたづ海ホタル」、家族連れに好評の「遊具広場&芝生公園」、塩づくり体験ができる「復元塩田」などがあり、海沿いには遊歩道も整備されています。



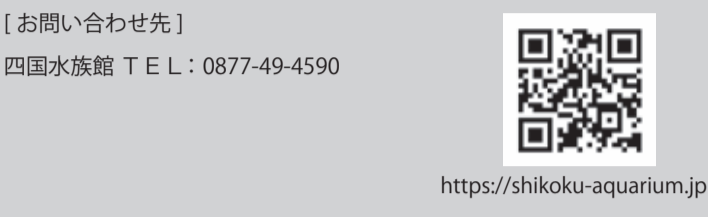
夕陽が美しい恋人の聖地



遊具広場

1 四国水族館

「四国水景」をテーマに、四国ならではの水中世界を再現しています。単なる生物展示だけでなく、四国の文化やそこで暮らす人の楽しみとともにある環境を水槽内で表現しています。【住所】香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4番地



提供：四国水族館

2 復元塩田

江戸時代初期に開発され、およそ半世紀前まで存在した入浜式塩田を復元。国内でも貴重な塩田と茅葺屋根の金屋で昔ながらの塩づくりをしています。また、塩づくり体験もでき、夏休みには自由研究のため多くの小学生が訪れます。【お問い合わせ先】うたづ海ホタル TEL: 0877-49-0860



3 さくらの広場

早咲きの河津桜が一面に広がる公園。暖かくなると近くに住む家族連れや学生などで賑わい、毎年花見をするのが恒例になっている住民もいます。この公園は防災用の広場として整備され、地下には防水槽が設置されています。



2 令和相聞歌

全国から投稿される恋の詩。毎年優秀作品を大理石に刻み道に設置したものを「令和相聞歌碑」と呼び、全国から集まる恋人たちに見てもらっています。2022年3月現在、その歌碑は58個にまで増え、10年以上続いている、町を代表するイベントの1つとなっています。



令和相聞歌碑めぐりコース

3 うたづアロハナイト

宇多津臨海公園にて2010年より7月に開催されている人気のイベント。瀬戸内海の雄大な景色と美しい夕陽とフラダンスの共演が楽しめます。



4 秋の大収穫祭

秋の旬なグルメや新鮮な海産物が勢揃いします。また、子どもたちに大人気のキャラクターショーから、大人も楽しめるステージショーまで、楽しい催しが目白押しです。



こまち 古街

神社仏閣

4 宇夫階神社 [MAP: C-4] 国登録有形文化財 紀元前には津之郷に鎮座していた歴史ある神社で、807年に今の場所に移りました。昭和48年に社殿が焼失しましたが、伊勢神宮の外宮第一別当である多賀宮御正殿を拝蔵しました。町指定天然記念物「巨石と御霊石」も見どころがあります。【お問い合わせ先】TEL:0877-85-6941

5 第78番札所 郷照寺 [MAP: C-4] 「真言宗」と「時宗」2教のお寺で、さらに「時宗」は四国霊場では郷照寺だけしかなく、88ヶ所の中でも特異な霊場です。観音式庭園や境内から望む瀬戸大橋の眺望も見どころです。

6 本妙寺 [MAP: C-4] 7 淨泉寺 [MAP: C-4] 8 聖徳院 [MAP: C-4] 9 南隆寺 [MAP: C-5]

10 多聞寺 [MAP: D-5] 11 圓通寺 [MAP: D-5] 12 西光寺 [MAP: D-4] 13 聖通寺 [MAP: D-3]

14 古街の家 [MAP: D-4] 臨海・青山の2つからなる、東洋文化研究家のアレックス・カー氏監修により改修された町家です。1棟買しの宿泊施設であるこの施設は、古民家の風采を残しつつ現代の様式にリノベーションされていて快適に過ごすことができます。【お問い合わせ先】TEL:0877-85-6941

15 こめっせ宇多津 [MAP: C-4] 登録有形文化財 町内外の方問わず、ギャラリー・発表会などにご利用いただけるまちづくり拠点施設です。昭和11年に竣工した農協倉庫を改修したもので、昔この倉庫が米蔵として利用されていました。

16 倉の館 三角館 [MAP: D-4] 登録有形文化財 この施設は、宇多津の古い町並散策のメインスポット。かつての豪商、肥料商であった堺氏が贅を尽くして建築した別邸です。現在でも茶会や講義などで使用されています。

17 聖通寺山頂展望台 [MAP: D-3] 車で気軽にアクセスできるビュースポット。展望台からは海へと続くダイナミックな瀬戸大橋や街を眺められます。「恋人の聖地」「日本の夜景100選」「日本夜景遺産」に認定されています。

景色

17 聖通寺山頂展望台 [MAP: D-3] 車で気軽にアクセスできるビュースポット。展望台からは海へと続くダイナミックな瀬戸大橋や街を眺められます。「恋人の聖地」「日本の夜景100選」「日本夜景遺産」に認定されています。

18 青の山山頂 [MAP: C-5] 標高224mの山で、頂上の展望台から宇多津町を一望できる絶景スポット。春には桜の名所としても知られ、「香川のみどり百選」のひとつでもあります。

19 ゆるぎ岩 [MAP: D-3] 聖通寺山頂近くにあるこの岩は、推定10tの大岩塊を、片手でも容易に揺れ動かすことができます。これから「ゆるぎ岩」と呼ばれています。揺れ動く理由は、粗粒花崗岩である上下の岩塊の風化で、地学的にも価値の高いものといわれます。【県指定天然記念物】

20 三つ岩 [MAP: D-5] 全高約4m、幅員3m、奥行き3mを誇る巨石群で、だんごを三つ組み重ねたような幾何学的な造形をしています。かつて観音聖地として多くの信者を集めたり、三三観音堂として石仏も残ることから、三つ岩は何らかの崇高な意図をもって構築されたと考えられています。

古墳

21 聖通寺山頂古墳 [MAP: D-3] こちらの古墳は、4世紀から5世紀の間に築造された古墳であるといわれ、土の代わりに山石の破片、河原石などの自然石塊を用いて構築したものです。【町指定史跡】

22 田尾茶臼山古墳 [MAP: E-4] 茶臼山古墳は古墳前期に属し全長80m余りに及ぶ前方後円墳で、綾歌北部にある古墳の中でも最大といわれています。【県指定史跡】

23 青の山山頂古墳群 [MAP: C-6] 青の山には古墳時代前期から同時代終末期にかけて十数基の古墳が造営されました。中でも、この一号墳はその特異な立地と方形墳という珍しい墳形から注目されている古墳です。【町指定史跡】

24 秋の例大祭 [MAP: C-4] 宇夫階神社と塩蔵神社の秋の例大祭には、神輿・太鼓台等が古街の道を通り、御旅所までお下がります。住民が協力して14台の太鼓台を担ぎ上げる姿は圧巻です。【お問い合わせ先】宇多津町まちづくり課 TEL:0877-49-8009

25 秋の例大祭 [MAP: C-4] 宇夫階神社と塩蔵神社の秋の例大祭には、神輿・太鼓台等が古街の道を通り、御旅所までお下がります。住民が協力して14台の太鼓台を担ぎ上げる姿は圧巻です。

うたづ今昔ロマン街道

宇多津町は、瀬戸内海に面した香川県のほぼ中央にあり、7世紀後半には、海上交通の港（津）、「鶴足津（うたづ）」と呼ばれる自然港ができており、室町時代には足利義満の側近であった細川頼之公の居館が置かれ、四国における武家社会の中心地として栄えました。

また、温暖で雨が少なく、日照時間が長いという瀬戸内式気候を利用して、江戸時代中期から昭和47年の塩田廃止まで、全国屈指の塩のまちでした。こうして、古くから政治、経済、文化の拠点として発展を遂げてきた宇多津町は、人類の英知と結晶と言われた瀬戸大橋架橋を機に、広大な塩田跡地が新宇多津都市という新しいまちに生まれ変わりました。天気のいいときは、瀬戸内海に浮かぶ鳥島をはっきりと見ることができ、岡山県側も望むことができます。四季を通じて、多島美で知られる瀬戸の海に沈む夕日が宇多津町をうっすらと赤く染めるパノラマを存分に楽しむことができます。

瀬戸内海国立公園の夕陽



廻路文化を残す廻路道

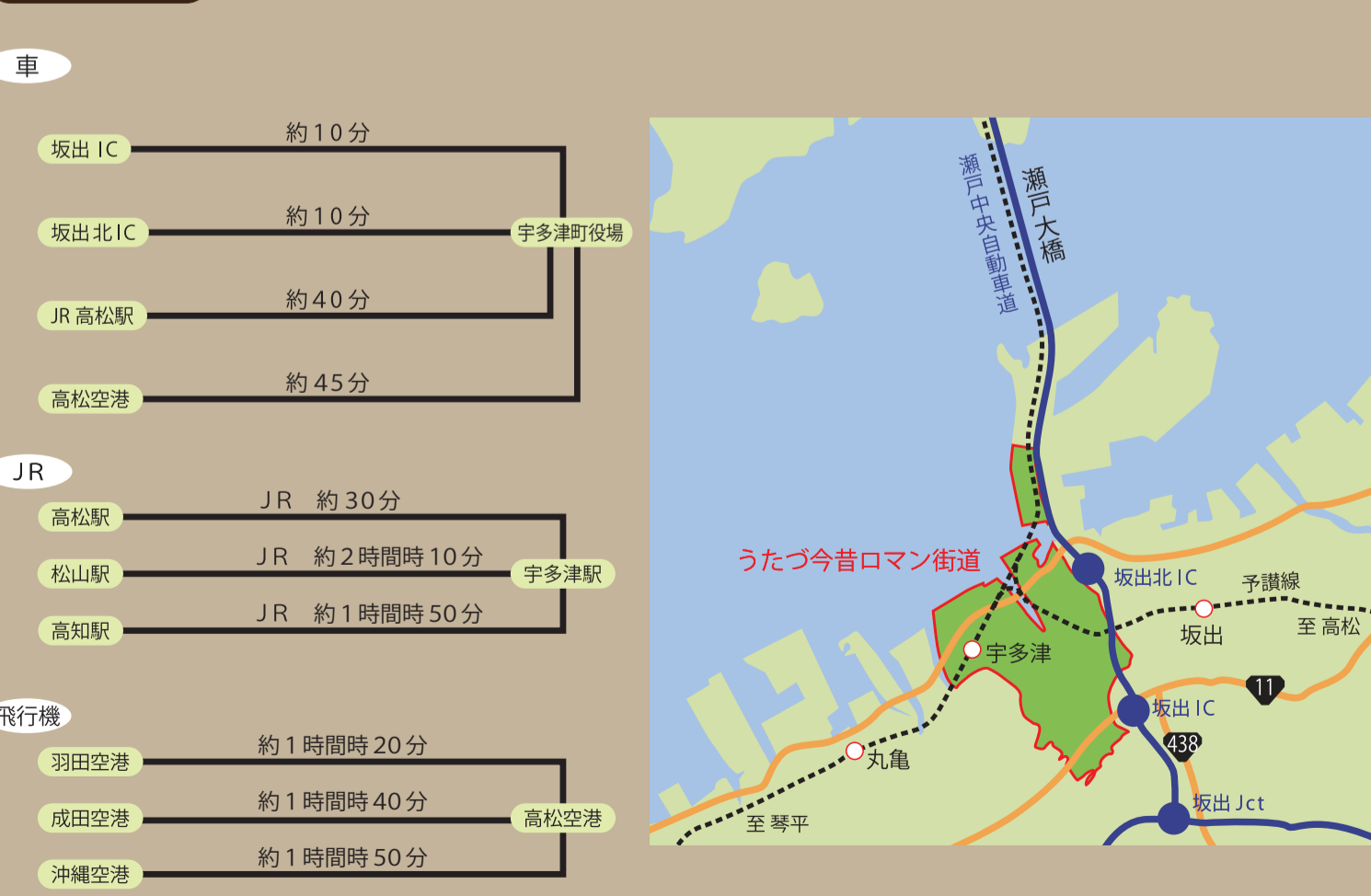
「うたづ今昔ロマン街道推進協議会」は、新田の街の得意な分野において、様々なワークショップを開催することで、街の魅力を町内外の多くの方々に知っていただくことと「地域固有の資源を活かし、魅らせるための活動」、「美しい景観・風景を創出する活動」、「来訪者をもてなし、楽しませる活動」を行っています。その結果、交流人口の創出につながり、活動の励みになっています。魅力ある宇多津町に是非お越しください。

うたづ今昔ロマン街道推進協議会
事務局：〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881番地
宇多津町まちづくり課
TEL:0877-49-8009 FAX:0877-49-0515
E-mail: machi@town.utazu.kagawa.jp



1 道の駅 恋人の聖地 うたづ臨海公園 [MAP: B-4] 【時間】うたづ海ホタル: 9:00~21:00 海と空のカフェ: 9:00~18:00 (L.O.17:30) 【定休日】公園:年中無休 うたづ海ホタル・海と空のカフェ:毎週月曜日・年末年始 (有休日が祝日の場合は翌日) 【連絡先】うたづ海ホタル:TEL:0877-49-0860 海と空のカフェ:TEL:0877-55-5674

アクセス



お問い合わせ先

四国風景街道協議会事務局 国土交通省 四国地方整備局 道路部地域道路課
〒760-8554 高松市サンポート4-3番33号 TEL:087-851-8061 (代表)
http://www.skr.mlit.go.jp/road/shikoku-fukeiai/

